





展開例① 提示教材「b-2 どちらの食品を選ぶか考えよう」

指導内容	(5)簡単な調理(B日常の食事と調理の基礎)・(7)物や金銭の使い方と買物(D身近な消費生活と環境)
ねらい	目的に合った品質のよい物を選んで、買い方を考え、適切に購入できるようにする。
活用場面	調理実習の事前学習など

指導資料集「消費生活！まなぶくん」の活用

**どっちのハムを買おうかな？**

賞味期限はあと2週間 **A** 賞味期限はあと2日 **B**

250円 175円 30%割引

調理実習の前は、何度でも繰り返し使える教材である。

食品を選ぶポイント

賞味期限が切れた食品は、買わないでください。

環境に配慮した食品の選び方

このハムを今日が賞味期限ならば、賞味期限までの期間が短いものでも、おいしく食べられます。

賞味期限が切れた食品は買わないでください。この食品は賞味期限が切れてから2週間も経っていません。

提示教材「a-3 本当に買う必要があるか考えよう」を一緒に活用すると、計画的な金銭の使い方について実践的に考えさせる上で、効果的である。

児童の主な学習活動

○A、Bのハムの違いを見つける。

A・・・賞味期限がBのハムより長い。値段がBのハムより高い。

B・・・賞味期限がAより短い。値段がより安い。

○A、Bのハムの良さを考える。

・Aのハムは新鮮なイメージがある。

・Aのハムは、長く食べられる。

・Bのハムの方が、安くすむ。

○賞味期限の意味や値段とのかかわりに気付かせ、環境への配慮なども踏まえた調理実習で使う材料の選び方や買い方を考える。

○賞味期限が切れた食品は、どうなるか考える。

提示教材「b-4 商品のマークを知ろう」を一緒に活用すると、品質表示についての指導もすることができ、目的に合った品質のよい食品の選び方を考えさせる上で、効果的である。

○これからどんなことに気を付けて買物をしていくか考える。

展開例② 提示教材「f-1 不用品を活用してみよう」

関連内容	(3)生活に役立つ物の製作、(6)住まい方への関心、(8)家庭生活の工夫(「快適な衣服と住まい」)・(7)物や金銭の使い方と買物(D身近な消費生活と環境)
ねらい	・リサイクルに関心をもち、不用品の活用方法や不用品を少なくするための工夫を考える。
活用場面	・「生活に役立つ物の製作」の材料の準備のしかたの学習 ・ごみの始末のしかたや不用品の活用のしかたの学習

指導資料集「消費生活！まなぶくん」の活用

同リサイクルして作っているのかな？

ランチョンマット

ヒント

活用している部分を提示

5つのリサイクル事例があるので、指導時間や活用場面を考えて、提示教材を選択できる。

クッション

クッションの材料は、はげないのびんや、リサイクルのペットボトルがおすすめです。

他のリサイクルの例

高度なリサイクルの例

家にリサイクルした物があるか考えさせたり、実際に不用品を活用した製作実習の場面で、繰り返し活用できる。

児童の主な学習活動

○クイズ形式で、何を活用してリサイクルしているのか考える。

活用している部分を提示

5つのリサイクル事例があるので、指導時間や活用場面を考えて、提示教材を選択できる。

○クイズ形式で、何を活用してリサイクルしているのか考える。

○不用品を少なくするための工夫を考えたり、製作に使う材料の準備のしかたを考えたりする。

家にリサイクルした物があるか考えさせたり、実際に不用品を活用した製作実習の場面で、繰り返し活用できる。

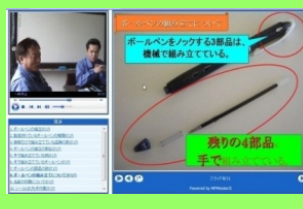
「b-4 商品マークを知ろう」 静止画教材



「消費生活！まなぶくん」の構成

指導項目	具体的な内容	作成形式	関連する指導内容
a 金銭の使い方	a-1 買物するために必要なお金について	静止画	(1)[A]
	a-2 生活に使うお金について	静止画	(1)[A]
	a-3 本当に買う必要があるか考えよう	アニメーション	すべて
	a-4 いろいろな支払い方法を知ろう	静止画	発展
b 身近な物の選び方	b-1 製作するものに合った布を選ぼう	静止画	(3)[C]
	b-2 どちらの食品を選ぶか考えよう	静止画	(5)[B]
	b-3 地元の食品の良さを考えよう	動画	(5)[B]
	b-4 商品のマークを知ろう	静止画	(3)(5)[B][C]
c 買い方	c-1 スーパーマーケットの工夫を見つけよう	動画	(3)[C]
	c-2 通信販売で買ってみよう	アニメーション	発展
	c-3 訪問販売って何だろう	アニメーション	発展
d 生活の見直し	d-1 身の回りの生活を見直そう	静止画	すべて
	d-2 実習後の振り返りをしよう	アニメーション	(3)(5)[B][C]
e 消費者としての権利と責任	e-1 消費者トラブルに気をつけよう	アニメーション	発展
	e-2 消費生活センターの役割を知ろう	静止画	発展
	e-3 クーリングオフ制度を知ろう	静止画	発展
	e-4 消費者基本法を知ろう	静止画	発展
f 身近な物の使い方	f-1 不用品を活用してみよう	アニメーション	(6)[C]
	f-2 文房具のできるまで	動画	(3)(6)[C]
	f-3 循環型社会を目指そう	アニメーション	(1)(8)[A][C]
g 身近な環境とかかわり	g-1 放置される粗ごみについて考えよう	静止画	(6)[C]
	g-2 環境に関する地域活動を調べよう	静止画	(6)[C]
	g-3 トレーサビリティって何だろう	静止画	(5)[B]発展
指導資料集		PDF形式	
展開例		ワープロ形式	
ワークシート			

「f-2 文房具のできるまで」 動画教材



工場働く人の話の動画に加え、インタビューの内容に関連した静止画も取り入れたHTML形式の動画教材。

指導資料集「消費生活！まなぶくん」は、HTML形式で作成し、CD-ROMに収録しました。

授業実践例「c-2 通信販売で買ってみよう」

ねらい	ランチョンマットの布の準備のしかたを考える活動を通して、店舗販売と通信販売の良さや注意点を知り、布の買い方を考えることができる。
活用した指導資料集	c-2 通信販売で買ってみよう

○主な学習活動	指導資料集「消費生活！まなぶくん」の活用場面	児童の反応
○ランチョンマットの布を、お店に行き行って買う良さについて考える。	<b>c-2 通信販売で買ってみよう</b> 通信販売のトップ画面	○「お店に行き行って買う良さ」の児童の意見 ・手でさわられる。 ・目で確認できる。 ・分からないことは、お店の人に聞ける。
○通信販売の模擬的な体験活動をする。	エプロンかバッグを買うことを想定し、児童が好きな方を選択して、次の場面へ進む。	数名の児童に体験させた。
○注文後の場面を見て、通信販売の良さや利用する時に気をつけることを考える。	それぞれの商品の選択画面 購入前の情報入力画面 注文後の画面	いくつかの商品の中から、気に入った商品を選択し、次の画面へ進む。 通信販売の模擬体験では、「名前を入れていいの」「電話番号は入れない方がいいんじゃない」などのアドバイスの声があがった。また、注文した物が実際に届かない例が表示されると、驚きの声や疑問の声が多くの児童から聞かれた。 通信販売を利用する時には、商品が届くまでお金を支払わないなど、気を付けることについて、友だちと意欲的に話し合う様子が見られた。
○ランチョンマットの布の買い方を考え、ワークシートに記入する。	通信販売等の安心・安全マークの画面	授業後の感想では、ジャドマークとオンラインマークについて、通信販売を利用する時の参考になりたいや通信販売を利用している家族にも知らせたいなどの記述が多く見られた。
困ったときは、消費生活センターを利用する方法があることを知らせた。	トラブルに巻き込まれないようにするために気をつけることを考えさせた。	【児童の感想より】 ・お店の人に聞けるから、お店で買う方がいいです。 ・商品をさわったり、実際に目で見ることができて安心だからお店で買いたいと思う。 ・インターネットなら家でも買えるので、便利だと思った。 ・通信販売は、便利だけど、気を付けたいところがあると思った。